

こんなときだからこそ今月も発行します。

☆平柔通信☆

平塚柔道協会発行
責任者 会長 奥山晴治

今月の目標・

一人でも柔道ができます。道場でなくても工夫次第で稽古はできる!

みんな元気ですか？ 今は「**耐えるとき**」です。
自分自身で、今、自分が出来ることを考えて実行しよう！
新型コロナウイルスなんかには負けるな！ **頑張れ！平柔！**

緊急事態宣言下においても、新型コロナウイルスの感染拡大の勢いは衰えず、先日も神奈川県内においても小田原病院でも院内感染が発生するなど、状況は非常に厳しく、まだまだ予断を許さない日が続いています。平柔の稽古を中止してから随分と経過しましたが、皆さんは、自宅において、**不要不急な外出を自粛していますか？学校や稽古がないからと言って、だらだらとした生活を送っていませんか？**この時期は、いかに自分自身で考え、勉強及び自主トレを行うかが重要です。全小・全中ほか、高校生や大学生の主要な大会も全て中止となり、競技者として目標を設定することが難しくなっていますが、必ず稽古や試合が出来る日が来ます。その日が来ることを信じ、また、柔道を修行する目的は、試合のためではなく、「**人格形成**」のためであることを認識して、日々の生活を過ごしましょう。今は「**自らの命を守る**」ことが最も重要であることを考え、**3密を避け、マスク・手洗いの励行**を続けてください。

柔道は素晴らしい！ ～ 一流選手からのメッセージ ～

現在、「柔道」の稽古ができないのはトップクラスの選手であっても同様です。そんな彼らが、オリンピックにかける思い、子供達への思いなど、いろいろなメッセージを発信しています。今回は海老沼選手の子供達へのメッセージと韓国のアンチャンリム選手のポスターを紹介します。

海老沼選手の子供達への思い

未来ある子ども達へ
インターハイの中止が正式に決まりましたね。他にも色々な大会の中止が決まっています。突然、目標にしていた大会がなくなり、目標を失っている子どももたくさんいるのではないのでしょうか？
偉そうなことを言わけてはあげませんが、あの大人なことを言ってきたな～と思いついて涙けたりしています。
大会が中止になっても、大会を目標に励んでいた日々は、今後必ず活きてきます。未来の自分への時間だと思いついて、前を向いて歩んでほしいんです。
私自身も、次の大会が未定で不安な日々を送っていますが、次の大会が行われる日に全力で戦えるよう、準備しています。
もしかしたら、前を向くのに、少し時間がかかる人もいらっしゃるかもしれません。それでも涙を失わず、夢を叶えることを信じていれば、必ず前を向けます。腐らずに諦めず、いま置かれている状況の中で、前を向いて歩いていきましょう。

私は、高校生のとき、インターハイに出場できませんでした。このときだけ、少し不安になりました。
「俺ってオリンピックに出るのってどうかな？」でも、諦めずに前だけを向いて歩んできました。私の心の中にいつもあったのは、「オリンピックで金メダル獲るんだ!」ただそれだけでした。もちろん、インターハイに出場できてない私が言うのが笑う人もいました。でも、
「そんな人を見返してやる。俺がオリンピックに出ると強いって思っていました。」
「オリンピックに出るためには？」
それだけを自分自身で考えて、日々の練習、生活をしてきました。
何か自分の行動に迷ったとき「これは、オリンピックに繋がるかかな？」そう自分に聞いてみて下さい。
私の夢は、オリンピックで金メダル獲るだけじゃありません。生活もしていき、夢をもっと、目標も見据え、そこに向かって歩む。それは、一筋道だと思います。
一筋に乗り進んでいこう。前を向いて歩いていこう。

アンチャンリムのオリンピックへの思い



自分が負ければ家族が泣く。ハラボシのことを思い出せ。第一ラッキョの同級生、同期が応援していることを忘れるな。柔道は、闘い。試合は「死闘」。負けは死を意味し、勝つことは生を意味する。他人を批判、評価するな。強いやつには先ずお願ひしにいけ。俺が寝ている間も強いやつは練習している。関節を取ったら極める。追い込まれて出る技が真の技。全体的に突き抜ける。是非でも勝つ。食事、睡眠、全てがトレーニング。正月は人が作ったものだから正月にも練習する。オーバーワークは一流選手だけが使う言葉。道場で水を飲むな。人に弱点和弱気を見せるな。柔道衣は自分の顔。センスがあれば三倍努力。
何があんでも東京五輪で金メダルを獲る。

(5月の予定) 未定 ※5月に予定していた平柔主催の団体戦も中止となりました。

(雑感) ～長い戦いの始まり～ 新型コロナウイルスの感染拡大、報道でご承知の方も多いと思いますが、私の職場においても、この対応に多忙を極めています。4月は、ほぼ、この対応のみに忙殺されました。現在、少しずつ落ち着きを取り戻しつつありますが、まだまだ気が抜けません。現在、「3密を避ける」、「不要不急の外出を自粛する」、「マスク・手洗いの励行」、「日々の職員及び同居家族の健康確認」等、基本的な事項の実施を徹底しています。この目に「見えない敵」との戦いはまだ始まったばかりかもしれません。感染を防止するためには、「**凡事徹底**」が求められます。予防のためのルーティンを大事にしてください。今後、緊急事態が解除され、国民全体の通常生活がいつ戻るのか、学校がいつから通学できるのか、そして、3密要素が最も強い競技である柔道がいつ再開できるか分かりません。この戦いに絶対に勝つ。その気持ちを持って頑張りましょう。(五)